

## 環境振動シンポジウム検討WG 第3回議事録(案)

- A. 日 時 2019年9月30日 月曜日 19:00~20:00  
B. 場 所 建築学会 305会議室  
C. 出席者 富田主査 他13名  
D. 提出資料(提出委員名)  
No.1 前回議事録案  
No.2 調査研究委員会主催 催し物 実施計画書 案

### E. 議事内容

1. 前回議事録案の確認(資料 No.1)  
承認
2. 2019年度環境振動シンポジウムについて  
実施計画書完成のために、講演者を交えて講演内容やタイトルについて協議した。  
関係小委員会主査及び講演者から講演内容の概要を紹介してもらい、講演順やタイトルおよび主旨説明文を決定した。

### 【プログラム】 ※ 開催日は2020年1月28日(火)

タイトル: 振動計測と予測の現在と未来 -環境振動設計指針の刊行に向けて-  
全体司会 富田先生、山中

13:30	主旨説明	松本先生	10分
13:40	① 設計における計測と予測	濱本先生	20分
14:00	② 内部加振源による振動の測定	小谷	20分
14:20	③ 外部加振源による振動の測定	横島	20分
	休憩 20分		
15:00	④ 内部加振源による振動の予測	鈴木(健)	30分
15:30	⑤ 外部加振源による振動の予測	緒方	30分
	休憩 10分		
16:10	パネルディスカッション	増田	70分
		メンバー: 講演者5名	
17:20	まとめ	国松	10分

【主旨】 環境振動の「評価」と「設計」の分離という方針に基づき、昨年11月には新しい「評価規準」が刊行され、来年6月には評価規準に準拠した「設計指針」の刊行も予定されている。これを受けて、「計測」と「予測」に関しても、「評価」と「設計」の動向に呼応した体系の見直しが求められている。今回のシンポジウムでは、「計測」と「予測」に焦点を当て、担当の小委員会より現在の状況を紹介するとともに、パネルディスカッションを通じて今後のそれぞれの方向性について幅広く議論する予定である。

上記内容にて運営委員会に報告する。  
資料原稿作成に取りかかる。

以上